

**授業概要**

社会の中のさまざまなトラブルは、何が問題で、どのように考え、どう判断すればよりよい解決になるのか。そのよりどころとなる法的な考え方（リーガルマインド）を身につけることが現代社会で必要となる。こうした問題解決の指針となるリーガルマインドを身につけていないと、トラブルに巻き込まれ易くなるかもしれない。トラブルの多くは、安易な方法を選択し、こうした解決ができなかったことが原因だからだ。そこで、この講義では、生活の中のさまざまな問題について、リーガルマインドを通じて、解決策を考えることを内容としている。

**授業計画**

第 1 回	法への扉を開こう ―ガイダンス
第 2 回	裁判員制度 ―もし、自分が裁判員裁判官に選ばれたなら
第 3 回	契約の自由と信義則 ―その契約をしても大丈夫？
第 4 回	所有と占有
第 5 回	犯罪と法―刑事司法のプロセス
第 6 回	刑罰とは何か―刑務所の中の問題から考える
第 7 回	少年法を考える ―少年法の理念とは
第 8 回	家族と法―家族（親族・姻族）とは
第 9 回	結婚に関する法的な問題―夫婦同姓と女性の婚姻禁止期間
第 10 回	個人情報と法 ―個人情報が保護するものとは
第 11 回	労働者の権利 ―ブラック企業への対応から働き者の権利を考える
第 12 回	情報と法① ―替え歌は違法なのか、著作権から考える
第 13 回	情報と法② ―パブリシティ権とは
第 14 回	死刑制度―死刑の存廃問題から死刑制度を考えてみる
第 15 回	リーガル・マインドとバランス（まとめ）
第 16 回	試験（筆記）

**達成目標**

「リーガルマインド」「法的安定性」「具体的妥当性」「社会規範と法的判断」「法の目的と機能」「条文と解釈」といったキーワードが理解でき、具体的な紛争の平和的解決が出来ることを目標とする。

**履修上の注意**

実際の法を学ぶためにも、法に関する様々な時事的問題に触れることは大切と思われる。そのため、日々のニュースに目を向けることが習慣となるようにしてほしい。

**予習復習**

予習としては、日々、法的な様々なニュースは起こっており、そのような点を踏まえ、身近な決まりについて考えてみる。

復習としては、身近な決まりから、法のもつ意味を理解し、不明な点は各自で調べて確認をする。

**評価方法**

定期試験（筆記）で評価を行う。試験 100%

**テキスト**

- ・教科書名：法学のおもしろさ（第3版）
  - ・著者名：山本 聡
  - ・出版社名：北樹出版
  - ・出版年（ISBN）：978-4-7793-0607-5
- ※その他、講義で使用するプリントを毎回配布する。